

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団

平成 27 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：一般社団法人八千代市歯科医師会・摂食嚥下リハビリテーション普及事業
2. 申請者名：一般社団法人八千代市歯科医師会 栗飯原 靖司
3. 実施組織：八千代市歯科医師会・東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科老化制御学系口腔老化制御学講座高齢者歯科学分野・新八千代病院（千葉県東葛南部地域リハビリテーションセンター）・柏歯科医師会
4. 事業の概要：八千代市歯科医師会では、過去 6 年間の間に、新八千代病院（千葉県東葛南部地域リハビリテーションセンター）東京医科歯科大学と連携し摂食嚥下リハビリテーション研究会内に 12 名の摂食嚥下協力歯科医師を育成した。さらに地域に対し摂食嚥下リハビリテーションの普及をはかりつつある。当研究会はオープンスタイルになっており、八千代市内にとどまらず他都市からも関連各職種の方々が多く見学・勉強などの目的で参加してくれている。その中で、今回、千葉県の柏歯科医師会が八千代市歯科医師会と同じスタイルの摂食嚥下リハビリテーション事業を立ち上げたいということで名乗り出た。八千代市歯科医師会としても協力体制をつくり、柏歯科医師会での摂食嚥下リハビリテーション事業が確立されることを期待する。

5. 事業の内容：
  1. 八千代市歯科医師会摂食嚥下リハビリテーション研究会の継続
  2. 柏歯科医師会への摂食嚥下リハビリテーション事業の周知と理解のため、啓発活動を行う。
  3. 柏歯科医師会内摂食嚥下リハビリテーション協力医に対する摂食嚥下リハビリテーションの教育
  4. 柏歯科医師会摂食嚥下リハビリテーション研究会の設立
  5. 八千代市歯科医師会と柏歯科医師会の摂食嚥下リハビリテーションでの連携を他都市にも伝えていく。

年度計画

初年度 2015 年度：八千代市歯科医師会摂食嚥下リハビリテーション研究会への柏歯科医師会摂食嚥下リハビリテーション協力医の参加、柏歯科医師会内での摂食嚥下リハビリテーション事業の周知と理解、啓発講習会開催

2 年目 2016 年度：柏歯科医師会摂食嚥下リハビリテーション協力医の教育と摂食嚥下専門歯科医師の育成、啓発講習会開催

3 年目 2017 年度：八千代市歯科医師会摂食嚥下リハビリテーション研究会と柏歯科医師会摂食嚥下リハビリテーション研究会での症例検討会、啓発講習会開催

6. 実施後の評価（今後の課題）：オープンスタイルで毎月開催している八千代市歯科医師会摂食嚥下リハビリテーション研究会内に千葉県の柏歯科医師会メンバーが参加して症例検討を含むディスカッションに参加している。同柏歯科医師会メンバーが柏歯科医師会執行部との橋渡し役となっているが、平成 27 年度より執行部関係者が変更したことにより当初計画していたような順調な連携ができていないのが実情である。八千代市歯科医師会としてはさらなる積極的な呼びかけとして東葛南部地域リハビリテーション研究会との連携により、「八千代市における摂食嚥下支援体制～市域包括ケアに向けて～」と題した研修会を東京医科歯科大学、東京女子医科大学八千代医療センター、八千代市歯科医師会摂食嚥下リハビリテーション研究会との共同で実施し、そこに柏歯科医師会執行部の参加も依頼したが、残念ながら、柏歯科医師会からは一部の方々の参加が確認できただけであった。今後は、八千代市歯科医師会執行部から柏歯科医師会執行部に対して正式文書にて摂食嚥下リハビリテーション事業に関する連携の是非と問うていく所存である。